

## 第46回 全日本実業団バスケットボール選手権大会報告書

札幌地区 高橋伸禎

この度は初めて全国大会へ参加させていただきました。私自身、今回の大会へ参加するにあたって、「起こるプレーを予測して思い切りよく判定すること」と「3日目を勝ち取る」ことを目標に挑みました。

初日の審判研修会では、日本実連審判委員長の針生 淳男氏より審判技術向上への取り組み方についてご教授いただきました。その中でも私が勉強になったこととして、【日々の審判において自分への課題をもって取り組む】大切さを改めて勉強になりました。任された試合に目標をもって取り組み、その中で失敗したことを、なぜ失敗したのかを考えて次の試合に生かす、自己反省と自己分析をこれからもっとしていきたいと感じました。

### 2/8日(土) APEX vs 浪速酸素

全国大会の第一試合ということもあり緊張しましたが、相手審判と協力して出だしで選手が納得する基準を示し、一試合吹き切ることが出来ました。講評で青木 俊博ブロック長(東海)からいただいたお言葉は、トレイルで判定する際にボールの動きに合わせてスペースを確認しに行っていたので、もっと予測してスペースを捉えられればもっといい位置で判定が出来るかと講評をいただきました。主審：柿原 実(福岡) 副審：高橋 伸禎

### 2/9日(日) イカイレッドチンプス vs 北陸電力石川

この試合は前日にいただいたアドバイスを整理して試合に入りました。前日と比べてどちらのチームもサイズは大きくはなかったのですが、スピードがありトランジションが多く展開が早かったです。講評で岩田 友幸ブロック長(中国)でいただいたお言葉は、吹いているものは自信を持って鳴らせていたが、4Qのラスト10分は相手審判の方が笛の数も多く、3Qまでの30分間と比べてリードで動いてスペースを見に行く数が少なくなったとご指摘を受けました。主審：藤原 健司(大阪) 副審：高橋 伸禎

### 2/10日(月) 第一生命 vs 丸紅

まず初めに、3日目まで吹かせていただきありがとうございました。本当に割を頂けると思っていなくて、任されることを聞かされた時は嬉しさもありましたが、今までよりもっと責任感を持ってコートに立たなくてはいけないと感じさせられました。初めての女子の試合ということもありましたが、考えすぎずに判定することを意識して試合に入りました。序盤は判定する位置として一歩足りず、判定しづらかったケースがあったので、さらに多く動いてスペースを見に行き一試合吹き切りました。講評では、日本実連副委員長の黒岡 和哲さんからお言葉をいただき、たくさん動いてスペースを見に行っていました。これからは相手審判の位置も確認しながら動いてスペースを見に行くともっと良くなるかと

アドバイスをいただきました。  
橋 伸禎

主審：柿原 実（福岡） 副審：高

今回の全国大会では、3日目を任せていただくことは出来たのですが、プレーの予測としてまだまだ足りないと感じることができ、大変貴重な経験をさせていただきました。このような機会を与えてくださった日本実業団バスケットボール連盟の皆様、東京都バスケットボール協会の皆様、北海道バスケットボール協会の皆様、札幌地区バスケットボール協会の皆様を始め、多くの方々に感謝いたします。